学校番号	416

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「標準文学国語」　（第一学習社）						
副教材等	五訂版 漢字検定対応 常用漢字クリア（尚文出版） 大学入学共通テスト対応版　LT 現代文１（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では近現代以降の文学作品を扱います。
文学作品では、登場人物の動作、言動、風景描写等を元に登場人物の心情を論理的に推察し、それがどう変化していっているのかを意識して読み進めます。それに加え、「自分がもしこの話の登場人物だったらどうするか。どう思うか。」そして「作品を読んで何を思ったのか」も同時に考えていきましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。また、意見交流等の授業には積極的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	小説を読み、本との再会を繰り返すなかでの「私」の変化について読み取る。 ［教材］旅する本	a：読書の意義と効用を理解する。 b［　読　］：短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 c：自分自身の変化を実感させるほどの「もの」との出会いについて、自身の過去と関連させて考えている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	随想文を読み、構成や特徴について理解する。 ［教材］花のいざない	a：文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b［　読　］：日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。 c：学習課題に沿って構成や展開について理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	戦争に関する小説を読み、場面ごとの「私」の心情を読み取る。 ［教材］夏の花	a：読書の意義と効用を理解する。 b［　読　］：「私」の移動とともに場面が変わる文章展開を把握し、各場面における「私」の心情を読み取る。 c：小説中で「私」が移動した経路と場面展開、そこでの心情について、粘り強く読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	詩の構成の意図を考え、詩の主題を理解する。 ［教材］わたしが一番きれいだったとき	a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b［　読　］：詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 ノート

		c：象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。			
二学期	鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 ［教材］鼻	a：文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b［ 書 ］：作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 c：内供を取り巻く人々の心理や態度を読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	詩に描かれた自然に関する描写を読み解きながら、「いもうと」と「わたくし」それぞれの想いを読み取る。 ［教材］永訣の朝	a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b［ 読 ］：内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c：象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 ［教材］山月記	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［ 読 ］：内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c：登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写する方法を学ぶ。	a：文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学ぶ。	ワークシート	発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 ノート

	［教材］物語を創造する	b［ 書 ］: 物語が人間にとって持つ意味を考え、表現に注意しながら物語を創造する。 c：本文中の例を参考にして、学習課題に沿って積極的に物語を創作しようとしている。			
三学期	表現に注意しながら場面の展開を読み取り、「私」の心情変化を捉える。 ［教材］ひよこの眼	a：読書の意義と効用を理解する。 b［ 読 ］：作品中の表現に注意しながら、「私」が幹生の目が見つめていたものに気づくまでの心情の変化を把握する。 c： 表現に注意しながら場面の展開を読み取り、「私」の幹生に対する心情変化を捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	詩中の表現が示しているものを理解し、「僕」と「恋人」が置かれていた状況を読み取る。 ［教材］そこにひとつの席が	a：文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b［ 読 ］：内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c：繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート
	比喩の構造や視点の転換を考察し、題名を意識しながら詩が提示するメッセージを考える。 ［教材］食事	a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b［ 読 ］：内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c：象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　　…　（　　２０　　）時間

・読むこと　　…　（　　５０　　）時間